

# さまざまな学校団体に楽しんでいただける プログラムの実施や 「あんしんグッズ」の貸出について

東京・お台場の日本科学未来館では、学校団体等のみなさんが安心して展示見学を楽しめるよう、さまざまな取り組みを行っています。視覚・聴覚特別支援学校の児童・生徒のみなさんを対象とした体験プログラムや、来館時の不安をやわらげる「あんしんグッズ」の貸出も行っています。校外学習やグループでのご来館の際に、ぜひご利用ください。

## 1 視覚特別支援学校向けプログラム 「さわってわかる! 国際宇宙ステーション」

国際宇宙ステーション（ISS）やロケットの立体模型を触察し、ISSの全体像や宇宙での暮らしについて学び、想像するプログラムです。児童・生徒が宇宙で生活することをイメージしながら、必要な物や工夫について考えます。「ISSをイメージするだけではなく、触りながら説明を聞けるため、形やサイズ感がわかりやすかった」「宇宙のことをもっと知りたくなった!」など好評をいただいています。ご希望に応じて、常設展示「こちら、国際宇宙ステーション」にて、実物大のモジュールや居住設備にも触る体験を追加することが可能です。



立体模型のちょっとした“仕掛け”もお楽しみください。

**対 象：**視覚障害のある小学生（4年生以上）、中学生、高校生

**所要時間：**60分コース（立体模型の触察）、90分コース（立体模型の触察+常設展内の実寸大ISSの触察）のいずれかより選択

**定 員：**児童・生徒10名まで（引率者人数を除く）

## 2 聴覚特別支援学校向けプログラム 「未来館を“文字で”探検しよう!」

話した言葉をリアルタイムで表示する透明字幕ディスプレイ「シースルーキャプションズ」を活用し、科学コミュニケーターが“文字”で未来館を案内します。ワークシートを活用しながら、シンボル展示「ジオ・コスモス」やロボット、宇宙関連の常設展示を見学し、対話を通じて科学への関心を深めることができます。プログラムを体験された方から、「詳しい説明を聞けたり、質問に丁寧に答えてくれたりするのがよかった」、「いろいろな未来について学べてよかった」という感想をいただくことも。



透明字幕ディスプレイをもった科学コミュニケーターと展示をまわります。

